

認識される時代に入ったといえるでしょう。しかし、頭痛治療をさらに医療行政・医療保険制度に建設的に反映させていくには、その必要性を地道にアピールしていかなければなりません。その中核的な役割を担っているのが日本頭痛学会であるといえます。会員各位が広い視野と大きな展望をもって頭痛診療と研究に邁進し、2011年を「頭痛医療」のさらなる飛躍の年にして行きましょう。

2) 片頭痛患者のバルプロ酸ナトリウム血中濃度測定も保険適応になりました。

先般、ご案内いたしましたように、頭痛学会からの要望が認められ、2010年10月29日より片頭痛に対してデパケン・デパケンRが保険適用可能となりました。合わせて要望しておりました血中濃度測定が2010年12月6日付で保険適応となりました。特定薬剤治療管理料として「片頭痛の患者であってバルプロ酸ナトリウムを投与しているもの」が追加されています。参考：『「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について』として厚生労働省保険局医療課長、厚生労働省保険局歯科医療管理官から通知をいただきました。

【詳細ホームページ】 <http://www.jhsnet.org/topics.html>

3) 最近の頭痛研究トピックス（広報委員会から最新の論文をご紹介します）

内容の詳細につきましては、HPをどうぞ、ご参照ください。

- ・くも膜下出血を示唆するハイリスクな臨床的特徴を解析した前向きコホート研究

Perry JJ, et al. High risk clinical characteristics for subarachnoid haemorrhage in patients with acute headache: prospective cohort study. *BMJ* 2010;341:c5204.

- ・カリウムチャネルTRESKのドミナントネガティブ変異により引き起こされる家族性片頭痛

Lafrenière RG, et al. A dominant-negative mutation in the TRESK potassium channel is linked to familial migraine with aura. *Nat Med* 2010;16:1157-1161. 掲載日：2010/11/26

- ・ β 遮断薬と行動療法の併用による片頭痛予防効果の検討

Holroyd KA, et al. Effect of preventive (β blocker) treatment, behavioural migraine management, or their combination on outcomes of optimised acute treatment in frequent migraine: randomized control trial. *BMJ* 2010, doi:10.1136.c4871 掲載日：2010/11/26

【詳細ホームページ】 http://www.jhsnet.org/zutu_topics.html

文責 柴田 護 企画広報委員（慶應義塾大学神経内科）

4) 15th Congress of the International Headache Society (IHC 2011) のご案内

2011年6月23日～26日にドイツ、ベルリンで開催されます。オンラインで参加登録が可能です。みなさまのご参加を、よろしくお願い申し上げます。

【詳細ホームページ】 <http://www2.kenes.com/ihc2011/pages/home.aspx>

~~~~~  
5) 12月1日付けにて、日本頭痛学会事務局が移転しました。

(旧事務局は12月末日で閉鎖されました。ご迷惑をおかけ致しますが  
よろしくお願い申し上げます。)

【新事務局】

〒338-8577 埼玉県さいたま市中央区本町東6-11-1 埼玉精神神経センター内

TEL : 048-840-2700 FAX : 048-840-2701

【旧事務局】

〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1 TEL&FAX 042-746-8082

~~~~~  
編集後記

最近の地球温暖化は、単純な平均温度の上昇することではなく、同じ冬でも、ある日突然に、春になったかと思えば、翌日には大陸からの低気圧による冬の嵐となったりすることのようで、頭痛を誘発しやすい気候になっているように思います。会員のみなさま、どうぞお体には、ご自愛ください。